

企画展

ドナルド・キーン先生と 昭和文壇史

—『声の残り』の世界 Act 2—

川端康成・木下順二・永井荷風

令和8年

1月17日 土

5月31日 日

午前10時～午後5時

休館日：2月23日・5月4日を除く
月曜日・2月24日(火)・5月7日(木)

会場：北区飛鳥山博物館

北区王子1-1-3 3階アートギャラリー第1室

主催：東京都北区 協力：(一財)ドナルド・キーン記念財団
問合せ先：東京都北区文化施策推進課 TEL03-5390-0093

ドナルド・キーン

声の残り

・私の文壇交遊録・

金岡寿夫訳



私の出会った日本の作家たち

到来日といらい40年、第一編作家18人との
心温まる交遊をホームページを交え縦横に語る。

朝日新聞社 定価1250円(本体1210円)

観覧
無料

企画展 ドナルド・キーン先生と昭和文壇史

—『声の残り』の世界 Act2— 川端康成・木下順二・永井荷風

ドナルド・キーン先生が96歳でご逝去されてから、まもなく7年の月日が経とうとしています。長いご生涯を日本文学・日本文化研究に捧げられたキーン先生は、1974年(昭和49年)11月に北区西ヶ原に住まいを定められて以来、その人生の半分近い歳月を北区の住人として過ごされ、この地から数多くの著作を世に送りだされました。

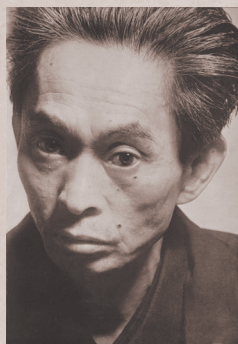
今回の企画展は、キーン先生が70歳を迎えた1992年(平成4年)4月1日から「朝日新聞」に全57回にわたって掲載された『声の残り 私の日本文壇交友録』(同年12月に朝日出版社から『声の残り 私の文壇交遊録』と改題して刊行)を題材に、キーン先生が直接出会った昭和文壇の作家たちとの親交のあとをご紹介します。

会場では、キーン先生のご生涯を紹介するパネル展示や『声の残り』で紹介されている川端康成、木下順二、そして永井荷風について、実物の新聞掲載記事や関係資料を展示いたしました。

展示実施に際し、一般財団法人ドナルド・キーン記念財団、そしてキーン誠己様から多大なるご理解とご協力をいただきました。ここに厚く御礼を申し上げます。

令和8年1月

東京都北区文化施策推進課



川端康成(近代日本人の肖像 国立国会図書館)



木下順二(『夕鶴・蛙野天』口絵 筑摩書房)



永井荷風(近代日本人の肖像 国立国会図書館)



MAP

《交通アクセス》

*専用駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

- ◎JR京浜東北線 王子駅南口 徒歩約5分
- ◎東京メトロ南北線 西ヶ原駅 徒歩約7分
- ◎東京さくらトラム 飛鳥山停留場 徒歩約4分
- ◎都営バス 飛鳥山停留所 徒歩約5分
- ◎北区コミュニティバス 飛鳥山公園停留所 徒歩約3分

※JR京浜東北線・王子駅中央口から、飛鳥山モノレール(アスカルゴ)で階段を使わずに飛鳥山に登ることができます。
(運行時間10:00 ~ 16:00)

